

キャンパスのごみ減量に向けた ワークショップ



かわら版

in 龍谷大学深草キャンパス

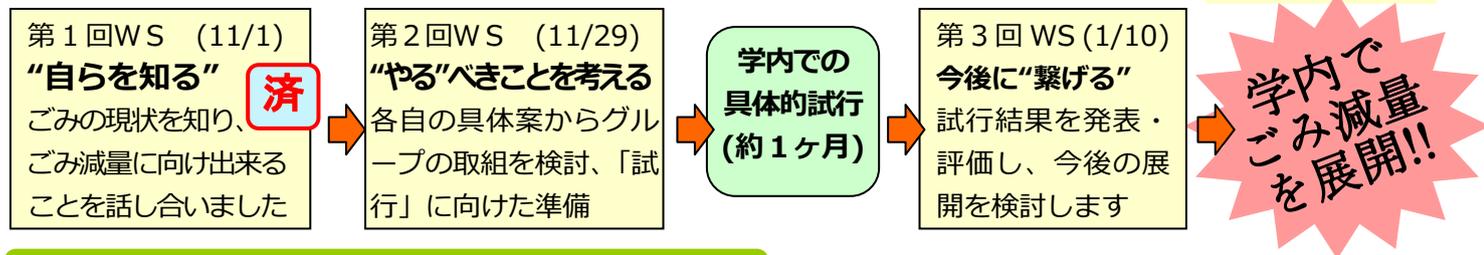
第1号 平成25年11月発行

● キャンパスのごみ減量に向け、出来ることを考え、実行します！

龍谷大学では、キャンパスのごみ減量に取り組んでいますが、大勢がキャンパスを行き交うという大学ならではの特質から、ごみを出さない意識の定着や分別を徹底させることが難しく、ごみ減量の大きな課題です。

そこで、北川ゼミ（北川秀樹政策学部教授）、増田ゼミ（増田啓子経済学部教授）の学生及びその他の学生が中心となり、ごみの減量（発生抑制やリサイクル）に向けた「ワークショップ（以下WS）」を開催します。ここで検討した減量の取組は、実際に深草キャンパスで試行し（11月末～1月始め）、効果のある取組を提案します！

● ごみ減量の取組（ワークショップ）の全体スケジュール



● 第1回ワークショップの報告

テーマ 「キャンパス内のごみ減量を進めるうえでの課題の認識と解決のための提案」

日時 平成25年11月1日（金）9：00～12:15 場所 龍谷大学深草キャンパス22号館107教室

参加 龍谷大学 学生、管理課、教員、生活協同組合
民間清掃会社 (株)ジャパンファシリティーズ、(株)宮徳商事
京都市 環境政策局事業系廃棄物対策室

- 主な内容
- ①ごみの現状とごみ減量の取組
▶ 紙ごみや食べ残しなど、学内のごみの現状を学びました
 - ②体験してみよう「ごみの分別にトライ!!」
▶ 実際のごみを前に、適切な分別区分の設定と実際の分別にトライしました
 - ③グループワーキング「キャンパスのごみ減量のためにできること」
▶ 学内で、自分たちで出来るごみ減量や仕組みづくりについて話し合いました



● グループワーキングで挙げた内容のまとめ

○大学のごみの出し方で良いところ

・清掃が丁寧で学内がきれい。ごみ箱が多くて便利。事務室で古紙を資源化している 等

○大学のごみの出し方で悪い所

・古紙を回収していない場所が多い。分別の意識が弱い。売れ残りや残飯ごみが多い 等

○問題点を解決するための提案

- ・資源化できるごみ箱を設置 —— 紙の多い箇所に古紙用のごみ箱を置くなど設置場所の工夫／看板・足下など分かりやすい分別表示／ごみ箱でリサイクルを呼びかけ
- ・啓発の強化 —— 新入生向け分別勉強会を実施／ポスターや Twitter で減量情報を発信
- ・その他 —— 授業プリントの受取を申告制／ごみ箱を起点としたキャンパスづくり 等



グループワーキングでは、学生の視点から、
多数のアイデアが出てきました！！



● 第2回で、ごみ減量取組の試行に向けた具体案を決めます！

・各自の解決案を発表し、課題解決のための具体案を決めます！

▶ 第1回WS後に、各自が具体的な解決案を考えます。その提案をもとにグループ分けをし、WSの最初に各自が解決案を発表します。各グループはその案をもとに話し合い、自分たちのグループが行う具体策を検討しま

・決めた具体案を実際に試行できるように、詳細な計画を定めます！

▶ 試行内容の設計図を作成、必要な材料・道具のリストアップ、スケジュール設定、各自の役割分担などを定め、実際の試行に向けて走り出します！

日時 平成25年11月29日 **場所** 龍谷大学深草キャンパス22号館107教室



● 第2回WS以降のスケジュール(試行からその評価、提案まで)

◆グループごとのごみ減量の取組の実践(試行)

日時 平成25年11月末から1月始め **場所** 龍谷大学深草キャンパス内

内容 各グループで決めた試行内容について、大学や京都市の協力を受けながら、学内で実際に実行します。



深草キャンパス
で実際に実施
します！



◆第3回ワークショップ ～試行内容の発表と評価、今後のごみ減量に向けた提案の作成～

日時 平成26年1月10日

場所 龍谷大学深草キャンパス22号館107教室

内容 各グループの試行内容を発表します。試行結果をもとに、今後のごみ減量に向けた提案をまとめます。



キャンパスのごみ減量に向けたワークショップかわら版 第1号

編集・発行：京都市環境政策局事業系廃棄物対策室

京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384 ヤサカ河原町ビル7階

TEL：075-366-1394 FAX：075-221-6550